

研修報告 F 班 3 グループ名：ハンマー65

## 「あふれる情報の中で気付きの機会を提供する」

### 1 テーマの選定

#### (1) 大学の役割

本グループではテーマの設定にあたり、まず大学の役割について議論を行った。結果、大学の役割として「受動的でなく能動的に社会に貢献する人材を輩出する」ことが重要であり、その役割を果たすために大学は、「自立・成長するための平等な機会を提供する」必要があると考えた。

#### (2) 大学の現状とテーマの選定

続いて大学の現状の分析として、以下の3つがあげられた。

- ① 大学が学生に提供する情報量が多い。
- ② 事務局側が伝えたい情報と、学生が興味のある情報が乖離している。
- ③ 全般的に情報に対して受動的な学生が多くみられ、大学側が情報を提供していても、受け取っている学生とそうでない学生との間に差が生まれている。

これらの現状を踏まえ、大学の役割を果たすためには、必要な情報が確実に学生に届くことが重要であると考え、「あふれる情報の中で気付きの機会を提供する」をテーマに選定した。そしてその取り組みとして、ポータルサイトを補完する形で、学生相互で情報交換できる仕組みを検討した。

### 2 問題点の深堀

設定したテーマをもとに、現状からの問題点について討議した結果、学生側（の行動と意識）と大学ポータルサイトに問題点があると考え、それらの洗い出しを行った。

#### ➤ 学生側の問題点

- ・ポータルサイトを学生が見ていないことがある。
- ・そもそも能動的に情報を取捨選択する手段を知らない学生が相当数存在する。

#### ➤ ポータルサイトの問題点

- ・学内それぞれの部署が情報を掲出するため、情報の重要度が分かりにくい。
- ・情報過多のため、学生側からは情報の確認／取得が煩雑となっている。

↓

これらの結果、学生は情報取得の機会が失われ、情報が掲出されているにもかかわらず、窓口にお問い合わせが集中してしまう。

### 3 解決策の検討

学生が直接ポータルサイトからではなく、学生同士の情報交換で自分に必要な情報を拾い、窓口に来る学生が一定数存在することから「学生同士の口コミ」の力に注目し、解決策を検討した。

#### 4 大学イノベーションの提案

(1) 新入生オリエンテーションなどでポータルサイトの使い方を上級生から伝授する仕組みの確立。

具体的な施策として、ポータルサイトの利用について、経験談（就職情報・講座・留学情報 etc）を上級生から新入生に伝授する場を設ける。これを実現するために、既存の学生団体（学生サポーターなど）の活用または、新たな学生サポートコミュニティを設立し、新入生オリエンテーションや大学のカリキュラムの一環として、上級生から新入生に情報提供を行う場を設ける。

(2) 情報の重要度が分かりやすく、かつ検索性の高いポータルサイトの構築と、教員・職員・学生い  
ず

れにも必要な情報を取り出しやすいシステムへの改善。

具体的な施策として、利用者でもある上記学生サポーターからの意見を取り入れる体制を整え、更新に活用する。そしてこれを実現するための将来構想として、既存の各システムとの相互乗り入れおよび統合を中長期的な計画に据える。

以上のような施策により、学生に気付きの機会をより多く提供し、能動的で社会に貢献する学生の育成を目指す。

以上